資料4－4

旭川市地域公共交通網形成に向けた方針（案）、目標（案）

各種状況調査、課題整理に対応して、旭川市の地域公共交通網の形成に向けた方針、目標、事業を設定します。

地域の概況調査、アンケート調査

現状と課題（資料 4-3 を参照）

1　地域の現状からみた課題

- 1-1　少子高齢化、人口の減少（→公共交通の利用のベースの減少と高齢者増加への対応が必要）
- 1-2　観光需要の変化（→公共交通利用のベースとなる観光需要の変化への対応が必要）
- 1-3　人口等の分布状況（→人口等の集積の濃淡にあわせた公共交通網形成が必要）
- 1-4　市民の移動実態（→広域移動および市内移動を確保する公共交通網の維持、改善が必要）
- 1-5　都市計画マスタープラン、立地適正化計画（現在策定中）（→拠点形成、コンパクトな市街地形成などの将来都市像への対応）

2　公共交通の現状からみた課題

- 2-1　公共交通利用者数の減少（→利用減少に対する公共交通の利用促進、維持方策が必要）
- 2-2　市内の公共交通による人口カバー状況（→公共交通の不便な地域でも移動手段の確保が必要）
- 2-3　運行本数、利用実態からみた幹線的な路線の存在（→路線の役割分担とネットワーク化が必要）
- 2-4　バス会社の環境の変化（運転者の不足、高齢化）（→運転手不足と高齢化への対応が必要）

3　移動実態ニーズ等からみた課題

- 3-1　市民の移動実態（→生活利用のための路線確保が必要）
- 3-2　市民の利用意識（→高齢化の中での移動手段の確保が必要）
- 3-3　市民のニーズ（→公共交通のわかりやすさ等の改善が必要）
- 3-4　通学者のニーズ（→公共交通を利用した通学ニーズへの対応が必要）

基本方針の設定

基本方針１

効率性と利便性の確保により持続可能な公共交通の構築を目指します

少子高齢化、人口減少、運転手不足，観光需要の変化など社会環境に対応して、効率性と利便性の確保、メリハリある路線とネットワークにより持続可能な公共交通の維持、確保を図ります。

基本方針２

市民にも来訪者にも分かりやすく使いたいと感じる公共交通の構築を目指します

市民ニーズや観光来訪者ニーズに対応した公共交通の維持、確保、分かりやすさの向上を図り、利用したいと感じる公共交通の構築を図ります。来訪者にとっても魅力を感じる公共交通を目指します。

基本方針３

コンパクトな都市づくり（旭川市の将来像）につながる公共交通の構築を目指します

コンパクト＋ネットワークの将来都市像に向け、都市機能や拠点をつなぐ路線網を構築します。長期的な取組みとして将来の都市像に繋げていきます。

基本方針４

公共交通の維持確保，利用促進に向けて関係者と連携した取組みを実施します

公共交通網の維持確保、利用促進、利用機会の創出に向けた取組み等を、関係者の連携と役割分担により取り組んでいきます。